



「妖怪」が島を救う!?

妖怪美術館
代表が語る、
妖怪が持つ
観光の力

妖怪 × 観光



鳥キャン2026内にて開催 当日スケジュール・お申込方法などは裏面へ

妖怪美術館 代表 佐藤秀司氏トークイベント

妖怪美術館の代表として、小豆島の地域観光の一役を担う佐藤氏とのトークイベント。4つのテーマ「妖怪と民俗学」「妖怪美術館のコンセプト」「迷路のまちの妖怪美術館」「これからの地域振興に求められる人材」をもとに、観光コンテンツとまちづくりとの関係を本学教員の専門分野とともにお届けします。



妖怪美術館 YOKAI ART MUSEUM

代表 佐藤 秀司

香川県・小豆島(迷路のまち)在住。MeiPAM(小豆島・迷路のまちアートプロジェクト)代表。妖怪美術館の入館料を3倍にしたところ、入館者が3.6倍・売上が11倍になった実践家として、せとうち観光専門職短期大学、香川大学、立教大学(社会人ゼミ)等で実務家講師を務める。家族でゲストハウス「KAKA」「SAI」運営。オリブオイルソムリエ。著書『迷路のまちの小さな美術館の挑戦』(千十一編集室)。

せとうち観光専門職短期大学

助教 松尾 有起

せとうち観光専門職短期大学助教。修士(文学)。専門は民俗学・地方文学研究。「信仰の歴史」「地域観光基礎実習」などの講義を担当。地域社会における民謡や民俗芸能の現代史について研究。主な論文に「『恥さらしな唄』から『親しまれている曲』へー「鳥原の子守唄」の展開と受容ー」「日本民俗学」316号など。



今年のテーマは
「旅×まちづくり」

高校生(保護者)限定

せとうちの魅力、せと短の魅力の両方を体験

島キャン 2026

大型バスで巡る
観光の島「小豆島」でオープンキャンパス!

参加
無料

8.1.SAT



ランチつき

先着40名様

完全予約制

せとうちの魅力、せと短の魅力の両方を体験できる「島キャン」。妖怪美術館代表と本学教員のトークイベントや実習先である小豆島オリーブ公園や醤油蔵めぐりながら、「小豆島の観光と民俗の関わり」や「大学での学び」などを体感できるオープンキャンパスです。

8:30 高松港集合

9:00 高松港発

10:00 土庄港着
「太陽の贈り物」見学

10:25 「土渕海峡」見学

11:00 小豆島国際ホテル着
・大学概要説明

妖怪美術館 代表 佐藤秀司氏
トークイベント

・昼食
13:30 「マルキン醤油」見学

14:10 「小豆島オリーブ公園」にて
公園の紹介や実習内容説明

15:45 土庄港発

16:45 高松港着、解散(予定)



保護者付き添いは1名に限りです

遠方からお越しの方に交通費補助あり

こちらでお飲み物もご用意しておりますが、水筒や帽子など、ご自身での熱中症対策をお願いいたします。食物アレルギーのある方は予約時にお知らせください。



予約はこちら

